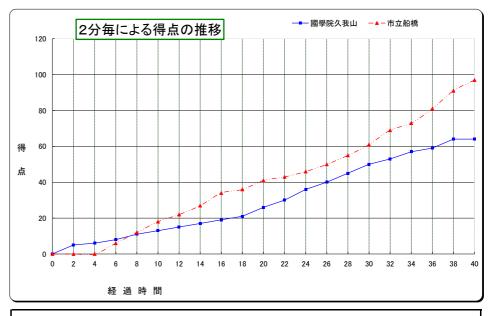
## 平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土) 深谷ビッグタートル Aブロック1回戦

チームA 國學院大學久我山 (東京)	64	<b>{</b>	13 13 24	1st 2nd 3rd	18 23 20	}	97	チームB 船橋市立船橋 (千葉)
			14	4th	36			

番	氏 名	得	3P		2P		FT		⊏ Bil	リバウンド		77 "	アシスト	ブロック	ターンオーバー
号	<b>兵</b> 右	点	成功	試行	成功	試行	成功	試行	反 則	OF	DF	スチール	7225	ショット	3-24-N-
4	野山 翔	17	4	5	1	3	3	4	3	1	2	1	2	0	5
5	神山 瞬汰	10	2	4	2	2	0	0	2	0	1	0	0	0	4
6	笠間 凱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	渡辺 怜	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	合田 樹	0	0	0	0	3	0	0	4	0	1	0	2	0	1
9	出光 歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	島原 大智	7	0	1	3	9	1	2	4	2	3	0	3	0	3
11	箱崎 亮祐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	松田 陸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
13	山本隆太朗	4	0	2	2	4	0	0	2	0	3	0	1	0	3
14	二村翔太郎	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15	三上 朋哉	26	0	0	8	12	10	12	2	4	5	0	3	0	5
16	関矢 和冬	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	寺西 涼佑	0													
18	佐藤 翔吾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	酒 井 良幸														
		64	6	14	16	35	14	18	17	7	15	1	11	0	25
		確率	42	.9%	45.7%		77.8%		計 22						

番	氏 名	得	3P		2P		FT		反 則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック	ターンオーバー
号	Д 1	点	成功	試行	成功	試行	成功	試行	及 則	OF	DF	ステール	7221	ショット	3-24-N-
4	石塚 周太	6	1	2	1	3	1	2	5	6	1	1	2	0	1
5	田村 伊織	5	1	1	1	4	0	0	0	3	2	1	4	1	1
6	増田 修大	8	0	0	3	7	2	2	2	0	1	3	2	0	1
7	赤穂 雷太	10	0	1	4	9	2	2	2	6	4	1	2	1	3
8	相川 大和	8	0	3	4	4	0	0	1	2	0	1	0	0	0
9	富澤 春輝	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	畠山 功	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	島田 舜太	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	3
12	兼重 パトリック	2	0	0	1	3	0	0	0	0	2	0	1	0	0
13	保泉 遼	21	3	10	6	11	0	0	2	1	2	3	2	0	0
14	庄司 理宇	6	0	0	3	4	0	0	2	1	0	0	0	0	0
15	三上 颯斗	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
16	野﨑 由之	26	4	10	7	11	0	0	2	1	0	3	1	0	1
17	大川 颯斗	3	1	2	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0
18	大澤 響生	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	近藤 義行														
		97	10	33	31	64	5	6	17	23	14	13	15	2	10
		確率	30	.3%	48.4%		83.3%		,	計	37				



## 戦 評

伝統校同士の対戦となったオープニングゲーム、久我山はハーフコートマンツーマン、市立船橋はオールコートマンツーマンでゲームスタート。

第1P 立ち上がり市立船橋は動きが硬く、なかなかシュートが決まらず4分間ノーゴール。対する久 我山は#10のリバウンドシュート、#4の3pなどで6点リードする。市立船橋はディフェンスのプレッシャーを強め、#7のゴール下、#16、#8の得点などで逆転し、逆に5点リードして1P終了。

第2P 更にディフェンスプレッシャーを強める市立船橋が、#17、#16の3pなどでリードを広げる。ボールキャリーに苦しむ久我山はオフェンスのリズムが悪く、タフショットを打たせる。#15、#10の得点などで何とか食らいつくも、点差は更に広がり、26対41で前半終了。

第3P 市立船橋のディフェンスプレシャーに対して久我山は、ボールマンスクリーンを上手く使いながら、ボールを運ぶ。ゴール下では久我山#15が頑張り、連続得点をあげ追い上げる。その後は久我山、市立船橋、両者ともに一歩も譲らず50対60で3P終了。このピリオドは24対20と久我山が点差を縮める。

第4P このまま流れに乗りたい久我山であったが、逆に市立船橋に先制され、連続得点を許す。タイムアウトを取り、市立船橋に傾いた流れを取り戻そうとするが、市立船橋の勢いは止まらず、#13、#16の3pなどで一気に突き放される。久我山も最後の意地を見せ頑張るも、点差は開き試合終了。市立船橋が2回戦進出を決めた。

記録者:中山田 泰隆

Ref 伊藤 裕一

2nd U